

全苗連だより

Vol. 83 (5月号)

令和3年5月25日

発行：全国山林種苗協同組合連合会

Tel.03-3262-3071 Fax.03-3262-3074

令和3年度全国山林種苗協同組合連合会通常総会が 開催されました

令和3年度全苗連生産者の集いは中止になりました

全苗連の令和3年度通常総会が5月21日に東京都千代田区のホテルメトロポリタンエドモントで開催されました。新型コロナウイルス感染症に対応しての開催となり、昨年度と同様の異例の総会となりました。新型コロナウイルス感染症対策等を理由に出席の難くなった会員は、全苗連定款第36条により、書面又は代理人をもって議決に加わったところです。出席者のマスクの着用はもちろんのこと、会場であるホテルメトロポリタンエドモントの会議室は定員の大きめの部屋を用意してソーシャルディスタンスを確保し、会議室入口には手の消毒液を準備する等の防疫体制を確保しながらの開催となりました。

異例づくめの総会となりましたが、ご来賓としてお願いしておりました林野庁からは、本郷長官並びに林野庁



総会の模様



本郷林野庁長官から御祝辞を頂く

整備課造林間伐対策室造林資材班小池種苗係長がお見えになり、林業関係の中央団体からは全国森林組合連合会の石澤林政担当部長、全国林業改良普及協会の中山専務理事、日本造林協会赤木常務理事、林業薬剤協会の山下専務理事、日本植木協会の二口事務局長に駆けつけて頂き、代表して本郷長官(写真)から森林・林業・木材産業に係る昨今の情勢等を踏まえた御祝辞(下記)を頂きました。

議事では、大森茂男全苗連会長の進行のもと、総会の成立(出席した会員5名、書面による議決権等

行使37名)を確認してから議案別に議決が行われ、令和2年度事業報告、財産目録、貸借対照表、損益計算

書及び剰余金処分案に係る議案、令和3年度事業計画、収支予算、賦課金額等に係る議案等所定の議案が原案どおり可決・承認されました。

なお、議事の中で、全苗連生産者の集いについて、開催県である福島県から出席していた上原副組合長から発言がありました。全苗連生産者の集いの開催日が迫り、準備の都合上ギリギリのタイミングにあるが、新型コロナウイルス変異株感染の急拡大の状況、ワクチンの接種状況等を鑑みると開催は難しいと判断される中、仮に再度延期とした場合、3年連続「集い」の準備をすることは当組合員、旅行代理店、宿泊予定旅館等への負担があまりにも大きいこと



挨拶をする大森会長

から、中止という方向で検討をお願いしたいというものでした。コロナ禍が続く中、出席会員はもとより、全国的にも開催は難しいという空気がある中で、全苗連の理事でもある北海道の竹内理事長からは、開催県の気持ちを汲み取ることも大事との発言があったところです。

そして、大森議長から、生産者の集いの開催について、事業計画案では新型コロナウイルス感染症対策が十分に行われれば開催し、これによりがたい状況と判断された場合は開催を中止することとしているところであり、開催準備をする観点からは現時点がタイムリミットということですので、誠に残念なことですが、本日をもって開催を中止するというのでよいかとしての採択が行われ、出席者全員の賛同があり、中止が決定しました。

なお、令和4年度全苗連生産者の集いは、元々令和3年度開催を予定していた宮崎県での開催に向けて準備を進めることとなります。

最後に織田繁実副会長から閉会の言葉があり、総会は終了しました。

《本郷林野庁長官御祝辞全文》

本日ここに、全国山林種苗協同組合連合会の令和3年度通常総会が開催されますことをお慶び申し上げます。

全国山林種苗協同組合連合会会員及びその傘下の皆様におかれましては、日頃より森林・林業行政の推進に、格別の御理解と御協力を賜っておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

我が国の森林・林業を取り巻く状況を見ますと、戦後造成された人工林の多くが本格的な利用期を迎えており、「伐って、使って、植える」という循環利用を確立することが、2050年カーボンニュートラル実現の観点からも求められています。



しかしながら、昨年まん延した新型コロナウイルス感染症につきましては、現在もお収束しておらず、依然として社会経済、日常生活に影響を与えております。林野庁といたしましても森林・林業・木材産業関係者の事業継続及び影響緩和に向けた措置を講じてまいりましたが、今後も各地域の状況を注視し、必要な対応を行っていくこととしております。

こうした中、今年3月、間伐等特措法の改正・延長が国会で可決・成立し、間伐等の実施に対する支援措置が令和12年度まで延長されるとともに、エリートツリーなど成長に優れた苗木を積極的に用いた再生林を推進する

特定植栽制度が創設されました。

特定植栽制度の円滑な実施に当たっては、特定母樹の種穂から育成される特定苗木の生産が不可欠となりますが、現在のところ、特定苗木の生産は北海道及び九州が中心となっております。このため、本州と四国においても、特定母樹の増殖、特定苗木の生産を進めていくことが重要と考えておりますので、育種場、都道府県等に働きかけていくとともに、苗木生産者である皆様にご協力を改めてお願いする次第です。

このような時代のニーズに応じた苗木の生産に向けては、高度な知見と技術を有する貴連合会の役割が益々重要になるものと認識しています。

林野庁といたしましては貴連合会の御協力もいただきつつ、次世代の森林造成に向けた各般の取組を進めてまいりたいと考えています。

皆様におかれましては、優良な種苗の安定供給に向けて、更なる御尽力と御協力を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、皆様の御健勝と御活躍、貴連合会の益々の御発展を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症への対応について

・「緊急事態宣言等について」「まん延防止等重点措置の実施」「事業継続に関する基本的なガイドライン」等の情報は、全苗連HPにUPしてあります

「林業経営体における新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン」、「イベント開催制限の緩和に伴うリスクを軽減するための措置」などの新型コロナウイルス感染症対策本部からの連絡事項等につきましては、情報が次第速やかに全苗連 HPのインフォメーション並びに会員向けページにUPしていますので、そちらをご確認願います。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により種苗の生産等に支障が出る等があった場合は、速やかに全苗連までご連絡をお願いします。

全苗連・苗組の行事予定

- | | |
|---------|--|
| 5月7日 | 全苗連正副会長会議(ホテルメトロポリタン エドモント飯田橋) |
| 5月7日 | 全苗連理事会(ホテルメトロポリタン エドモント飯田橋) |
| 5月8日 | みどりの感謝祭式典(イイノホール)(中止) |
| 5月12日 | 一般社団法人林業薬剤協会第1回理事会(学士会館) |
| 5月21日 | 全苗連通常総会(ホテルメトロポリタン エドモント飯田橋) |
| 5月31日 | 一般社団法人林業薬剤協会通常総会(学士会館) |
| 8月20日 | 第59回農林水産祭シンポジウム(天皇杯受賞 福島県上原和直氏)(三会堂ビル;東京都港区)(主催;農林水産省・公益財団法人日本農林漁業振興会) |
| 9月2日～3日 | 第6回全苗連生産者の集い(福島県「とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)」)(中止) |